
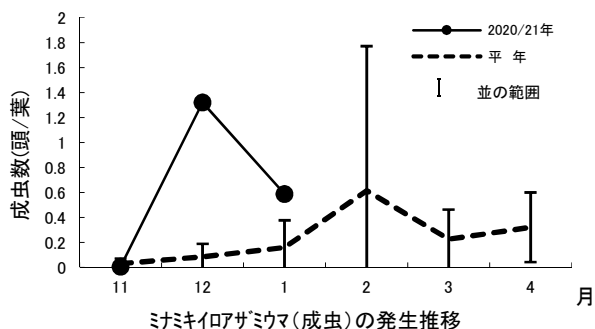


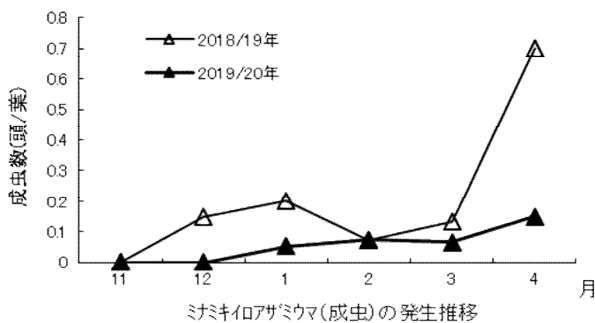
作物	さやいんげん(平張)	地域	沖縄群島
病害虫名	① ミナミキイロアザミウマ		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	1 月からの増減傾向	↗	
		2 月の発生量 (平年比)	やや多
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗) 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み	

調査結果

(平均)




(過去 2 年の発生推移)



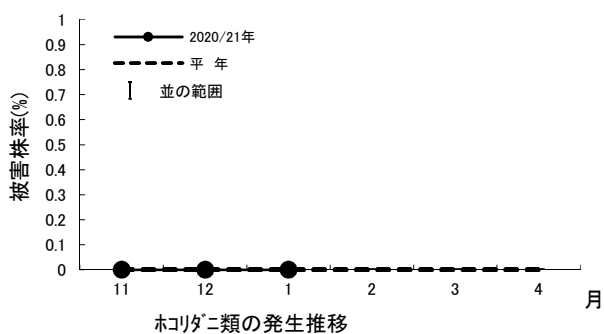
防除のポイント

- ・ ほ場の出入口には二重カーテンなどを設置し、本種の侵入を防ぐ。
- ・ ほ場周辺の雑草は本種の発生源となるので、除草を行う。
- ・ 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

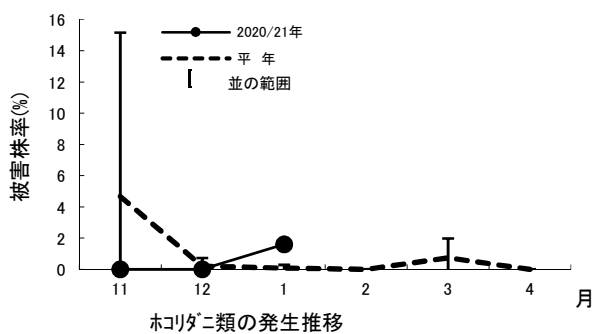
作物	さやいんげん(平張)	地域	沖縄群島
病害虫名	ホコリダニ類		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	1 月からの増減傾向	→	
		2 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→) 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み	

調査結果

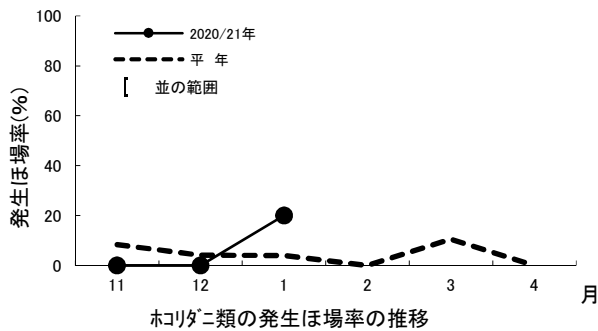
(中央値)



(平均)



(発生ほ場率)



- ・ 一部ほ場で多発した

防除のポイント

- ・ 20℃での卵から成虫までの発育期間は13～17日と短く、短期間のうちに高密度になりやすいため、早期発見・防除に努める。
- ・ 薬剤が到達しにくい生長点付近や未展開葉に潜っているため、葉散は葉裏へ丁寧に行う。
- ・ ほ場内外に寄主植物(主にナス科雑草)が無いよう除草に努める。